

授 業 概 要 (1 / 4)

授業のタイトル (科目名) ソーシャルワーク演習 (専門)		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者：木村彰裕・保田 浩美・成川栄由・濱田新	科目コード 3021
回数 60回	時間数 (単位数) 120時間	配当学年・時期 1年 通年	必修 ・ 選択	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し理論化し体系たてていくことができる。 ・ 社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。 ・ 支援を必要とする人を中心とした分野について実践的に理解する。 ・ 地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。 ・ ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。 ・ 実践の質の向上を図るため、スーパービジョンについて体験的に理解する。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルワーク実習で体験したことや具体的事例を活用し、個別指導並びに集団指導を通して、実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形態によって学習する。 ・ ソーシャルワーク実習で体験した知識や技術について個別的な体験を一般化し、実践的かつ学術的な知識及び技術として習得できるよう、集団指導並びに個別指導による実技指導によって学習する。 <p>【授業修了時の達成課題 (到達目標)】</p> <p>「支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援」、「具体的なソーシャルワークの場面及び過程に必要な実践的技能」、「地域福祉の基盤整備と開発」について学び、現状と対応についての見解を述べる事ができる。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 複合的な事例を調べ、地域が抱える課題について、支援の在り方を考察する①虐待 3. 複合的な事例を調べ、地域が抱える課題について、支援の在り方を考察する②ひきこもり 4. 複合的な事例を調べ、地域が抱える課題について、支援の在り方を考察する③貧困 5. 複合的な事例を調べ、地域が抱える課題について、支援の在り方を考察する④認知症 6. 複合的な事例を調べ、地域が抱える課題について、支援の在り方を考察する⑤週末ケア 7. 社会福祉士の仕事を知る①アウトリーチ 8. 社会福祉士の仕事を知る②チームアプローチ 9. 社会福祉士の仕事を知る③ネットワーキング 10. 領域別 社会福祉士の仕事の概要を調べる① 11. 領域別 社会福祉士の仕事の概要を調べる② 12. 領域別 社会福祉士の仕事の概要を調べる③ 13. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 児童福祉分野① 14. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 児童福祉分野② 15. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 児童福祉分野③ 				
<p>【使用テキスト・参考文献】</p> <p>最新・ソーシャルワークの理論と方法 中央法規出版 社会福祉小六法2024 配布資料</p>		<p>【単位認定の方法及び基準】</p> <p>授業態度、発表、作成資料、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。</p> <p>※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。</p> <p>※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、期末試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。</p>		

授 業 概 要 (2 / 4)

授業のタイトル (科目名) ソーシャルワーク演習 (専門)		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者：木村彰裕・保田 浩美・成川菜由・濱田新	科目コード 3021
回数 60回	時間数 (単位数) 120時間	配当学年・時期 1年 通年		必修 ・ 選択
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し理論化し体系たてていくことができる。 ・ 社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。 ・ 支援を必要とする人を中心とした分野について実践的に理解する。 ・ 地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。 ・ ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。 ・ 実践の質の向上を図るため、スーパービジョンについて体験的に理解する。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルワーク実習で体験したことや具体的事例を活用し、個別指導並びに集団指導を通して、実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形態によって学習する。 ・ ソーシャルワーク実習で体験した知識や技術について個別的な体験を一般化し、実践的かつ学術的な知識及び技術として習得できるよう、集団指導並びに個別指導による実技指導によって学習する。 <p>【授業修了時の達成課題 (到達目標)】</p> <p>「支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援」、「具体的なソーシャルワークの場面及び過程に必要な実践的技能」、「地域福祉の基盤整備と開発」について学び、現状と対応についての見解を述べる事ができる。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>16. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 障害者福祉分野①</p> <p>17. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 障害者福祉分野②</p> <p>18. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 障害者福祉分野③</p> <p>19. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 高齢者福祉分野①</p> <p>20. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 高齢者福祉分野②</p> <p>21. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 高齢者福祉分野③</p> <p>22. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 地域福祉分野①</p> <p>23. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 地域福祉分野②</p> <p>24. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 地域福祉分野③</p> <p>25. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 医療福祉分野①</p> <p>26. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 医療福祉分野②</p> <p>27. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 医療福祉分野③</p> <p>28. 地域の現状と求められる社会福祉士の働き (児童虐待対策) ①</p> <p>29. 地域の現状と求められる社会福祉士の働き (保護観察官) ①</p> <p>30. 地域の現状と求められる社会福祉士の働き (家計相談支援事業) ①</p>				
<p>【使用テキスト・参考文献】</p> <p>最新・ソーシャルワークの理論と方法 中央法規出版 社会福祉小六法2024 配布資料</p>		<p>【単位認定の方法及び基準】</p> <p>授業態度、発表、作成資料、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。</p> <p>※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。</p> <p>※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、期末試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。</p>		

授 業 概 要 (3/4)

授業のタイトル (科目名) ソーシャルワーク演習 (専門)		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者：木村彰裕・保田 浩美・成川栄由・濱田新	科目コード 3021
回数 60回	時間数 (単位数) 120時間	配当学年・時期 1年 通年	必修 ・ 選択	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し理論化し体系たてていくことができる。 ・ 社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。 ・ 支援を必要とする人を中心とした分野について実践的に理解する。 ・ 地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。 ・ ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。 ・ 実践の質の向上を図るため、スーパービジョンについて体験的に理解する。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルワーク実習で体験したことや具体的事例を活用し、個別指導並びに集団指導を通して、実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形態によって学習する。 ・ ソーシャルワーク実習で体験した知識や技術について個別的な体験を一般化し、実践的かつ学術的な知識及び技術として習得できるよう、集団指導並びに個別指導による実技指導によって学習する。 <p>【授業修了時の達成課題 (到達目標)】</p> <p>「支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援」、「具体的なソーシャルワークの場面及び過程に必要な実践的技能」、「地域福祉の基盤整備と開発」について学び、現状と対応についての見解を述べる事ができる。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 31. 事業所の概要と社会福祉士の働きについて発表① 32. 事業所の概要と社会福祉士の働きについて発表② 33. 相談援助の支援過程 (インテーク) ① 34. 相談援助の支援過程 (アセスメント) ① 35. 相談援助の支援過程 (プランニング) ① 36. 模擬カンファレンス グループ準備① 37. 模擬カンファレンス グループ準備① 38. 模擬カンファレンス グループ発表① 39. 模擬カンファレンス グループ発表② 40. 模擬カンファレンス グループ発表③ 41. サービスの評価① 42. サービスの評価② 43. スーパービジョン① 44. スーパービジョン② 45. スーパービジョン③ 				
<p>【使用テキスト・参考文献】</p> <p>最新・ソーシャルワークの理論と方法 中央法規出版 社会福祉小六法2024 配布資料</p>		<p>【単位認定の方法及び基準】</p> <p>授業態度、発表、作成資料、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。</p> <p>※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。</p> <p>※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、期末試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。</p>		

授 業 概 要 (4/4)

授業のタイトル (科目名) ソーシャルワーク演習 (専門)		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者：木村彰裕・保田 浩美・成川栄由・濱田新	科目コード 3021
回数 60回	時間数 (単位数) 120時間	配当学年・時期 1年 通年	必修 ・ 選択	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し理論化し体系たてていくことができる。 ・ 社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。 ・ 支援を必要とする人を中心とした分野について実践的に理解する。 ・ 地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。 ・ ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。 ・ 実践の質の向上を図るため、スーパービジョンについて体験的に理解する。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルワーク実習で体験したことや具体的事例を活用し、個別指導並びに集団指導を通して、実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形態によって学習する。 ・ ソーシャルワーク実習で体験した知識や技術について個別的な体験を一般化し、実践的かつ学術的な知識及び技術として習得できるよう、集団指導並びに個別指導による実技指導によって学習する。 <p>【授業修了時の達成課題 (到達目標)】</p> <p>「支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援」、「具体的なソーシャルワークの場面及び過程に必要な実践的技能」、「地域福祉の基盤整備と開発」について学び、現状と対応についての見解を述べる事ができる。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 46. 災害時の社会福祉士の働き① 47. 災害時の社会福祉士の働き② 48. ソーシャルサポートネットワーク (構築の実際) ① 49. ソーシャルサポートネットワーク (構築の実際) ② 50. 地域包括ケアシステム (構築の実際) ① 51. 地域包括ケアシステム (構築の実際) ② 52. 社会的孤立への支援① 53. 社会的孤立への支援② 54. 多職種連携① 55. 多職種連携② 56. 社会資源開発① 57. 社会資源開発② 58. まとめ① 59. まとめ② 60. まとめ③ 				
<p>【使用テキスト・参考文献】</p> <p>最新・ソーシャルワークの理論と方法 中央法規出版 社会福祉小六法2024 配布資料</p>		<p>【単位認定の方法及び基準】</p> <p>授業態度、発表、作成資料、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。</p> <p>※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。</p> <p>※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、期末試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。</p>		